

奥州市

力強い農業をつくる「懸け橋」に

農業委員会 だより



第2号

【発行日】平成18年12月14日

【発行】奥州市農業委員会だより編集委員会

【印刷】(資)正和印刷所



【胆沢区 若柳地区 加藤園芸のみなさん】

若い農業就業者の大幅な減少、担い手不足と高齢化の進行、農用地の遊休荒廃等、現状は厳しいところではありますが新たな施策を十分理解し食料供給の基礎となる農地を農地として守り有効利用することを目的に「意欲ある担い手の確保・育成と優良農地の確保・有効利用」は、農業構造改革実現の基礎であり農業委員会組織の取り組みに大きな期待が寄せられており「農地と担い手を守り活かす運動」を組織一丸となって展開している所であります。

来年度からは「経営安定所得対策」が本格実施されます、この冬季農閑期に十分に議論を積み重ね対応方お願い致しますと共に地域に密着した活動を推進し、農業者の信頼と期待に応えられるよう各施策の推進に努めて参る所存でありますので、ご理解とご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。

奥州市誕生後はや10カ月、農業委員会は在任特例の適用を経て去る七月に農業委員選挙が行なわれ二万五三ヘクタール・一万四〇一〇戸あまりの農家の代表として新たに48名の農業委員が選任され、その第1回総会において引き続き会長に就任いたしました。

先に決定されました「経営所得安定対策大綱」の具体的内容が示されて、来年度から農業構造改革に向けた戦後最大の農政改革が本格実施に移されます。



会長就任挨拶
奥州市農業委員会
会長 千田 榮悦

各区から…

水沢区

「親子でそば打ちに挑戦」

佐倉河公民館宮田分館で、11月23日に「宮田地区健康と潤いにみちたコミュニティづくり事業」の一環として収穫祭・そば打ち体験が行なわれ、幼稚園から小学生までの子供約30人と、その父母、高齢者など約40人が本格的なそば打ちを楽しみました。

この体験は平成16年から三世代が触れ合うコミュニティづくりを目的として「栄養・運動・休養」をキーワードに実施されているもので、食生活の改善のために昔からある雑穀「そば」に取り組んで3年目。

調理に使ったそばや大根、カブなどの材料は、同地区の高齢者

や子供達が東

高山団地内に

ある「健康農

園・子供ふれ

あい農園」で

自ら種をまき

11月18日に収

穫したもので、

間引きや草取



す。

出来あがつ

た「大根そば」

は格別の味

だったかな。

江刺区

多角的経営に取り組む集落営農



江刺金札米で米粉パンの製造販売をしている「夢の里工房はらたい」

原体ファームの作付面積（平成18年）

水稲（ひとめぼれ）	22.7ha	大豆（リュウホウ）	6.8ha
アスパラガス	1.3ha	ブルーベリー	0.5ha
農作業受託	13.0ha		

田原地区にある農事組合法人「原体ファーム」は、「原体営農組合」を前身に、稲作を中心とした農業経営を目指して集落内72戸で平成14年7月に設立されました。平成15年8月には特定農業法人に認定され、小作契約や受託作業も行なっており、農地を有効活用するため、大豆転作のブロックローテーションや、園芸品目の栽培にも取り組んでいます。収穫した米と野菜は、米粉パンの具材にして「夢の里工房はらたい」で販売しており、近隣市町村から買い物客が訪れているほか、県内外からの研修などの来訪者で大賑わいです。この取り組みはまさに来年度からの農政改革に合致するものです。平成17年12月には土地改良事業地区営農推進優良団体として本県で初の農林水産大臣賞（最高賞）を受賞しています。集落営農の受け皿にと設立されたこの法人は、農地や自然豊かな環境を守り、組合員の融和と利益の増進を目的にこれからも取り組んでいきます。

前沢区

前沢西部転作組合の大豆栽培

古城地区にある西部転作組合は、平成11年に、前沢区古城四地区の基盤整備を契機に、大豆転作に取り組む現在七一ヘクタール実施しています。将来的には隣接する地区の基盤整備事業と連携し一五〇、一八〇ヘクタールで計画しています。大豆は県の奨励品種のほか、作業が集中しないよう刈取適期が異なる品種の岩手みどりや秘伝を宮城県の前沢と契約栽培しています。乾燥・調整及び色選別は、陸中折居駅前の倉庫を借りて組合の担い手と地域雇用のパートで行なっています。

組合長の岩渕忠男さんは「今後の課題は若者が積極的に営農組合に関わってもらえる仕組みづくり。栽培管理次第で等級が下がったり人件費の増になる紫斑病・カメムシ等防除が大切」と話している。

組合では、汎用コンバイン3台、乾燥機（旧式含む）3台、播種機四台、中耕培土機3台を所有しており、今後色選別機の導入も検討しています。



大豆転作の概要

作付	71ha（うち対象区域内 62 ha）
品種別	青丸君（奨励品種） 21ha
	ナンプシロメ（奨励品種） 14ha
	岩手みどり 26ha
	秘伝 10ha

胆沢区

関西のラジオリスナーが稲刈り体験

10月1日、大阪ABC(朝日)放送のラジオ番組「笑たま」の「ゆめろく稲刈り体験ツアー」が南都田地区で行なわれました。

番組が募集したリスナー20名とスタッフが来県、リスナーの若いお母さんや小中学生が慣れない手つきで鎌を持ち、地元の方々に教えられ汗を流していました。自ら稲刈り体験することによって食の安全や大切さについて考えていた、ただたかもしれません。ホンニヨ取りが終わると、地元の漬物や山菜、芋の子汁、おにぎりに舌鼓を打っていました。

このツアーのスタートは、10年ほど前に関西地方で3千万人ものリスナー数を誇る超人気番組「アベ9ジラ」のアナウンサー安部憲幸氏が、岩手出身の番組スタッフから紹介された新米の美味しさに感動したことがきっかけ。そこで、産地での田植・稲刈とその実生中継を行なったことから番組の「プライベートブランド」として名称募集され「ゆめろく米」が商品化。5kg入りオリジナル米袋で関西中心に限定発売され、完売するほどの人気商品に成長し、岩手を関西へ情報発信する役割をも担うようになってきました。



9年目を迎えた今年からは、後任の中郷雄二アナとお笑いの太平シローさんによる番組「笑たま」に引き継がれ、生産者と消費者との交流の輪もますます広がりをを見せています。

衣川区

地域資源活用と次世代への継承

大平集落は衣川区の西端に位置し農家戸数は15戸。農地は小区画で急傾斜地がほとんどで、高齢化と少子化、若い働き手は都市部へ出て行くといった悪循環が危惧されてきている地区でした。しかし中山間地域直接支払制度を活用して集落の活性化を図ろうと大半を占める兼業農



家が集まれる土日に集会を開いて集落を総点検し、協定を結びました。その結果、機械化の進展に伴い薄れてきた「結い」の精神を復興し、農道、水路等の共同管理をするほか、作業の効率化を考えた農道の新設、休耕田活用として繁殖牛の共同放牧、リンドウの作付けと山菜等の加工販売が計画されました。また、認定農業者を1名から2名に増やし、集落営農組織を立ち上げ、集落内での作業を分担しあいながら所得の向上もめざしています。

その他、現在では面的機能の発揮として集落主導の里山・冬山体験の受け入れや、教育振興会と連携したEM菌の河川への投入といった環境保全活動、新エネルギー技術として休耕田での牛の放牧等にソーラー電気牧柵の設置も行なわれています。

農業委員活動

奥州市内農地を巡回

奥州市の基幹産業の一つである農業の振興に取り組むためには委員全員が市内農業の現状を把握する必要があることから、今まで各区において行なわれていた稲作状況調査を、水田状況調査とし、9月15日に各区二箇所を選定し巡回調査を行ないました。市の総面積は約九三平方キロメートルは香川県県の約53%に相当し、一日かけて巡回し改めてその広大さを認識するとともに、約22%(約二万ヘクタール)を占める農地を、県内屈指の恵まれた条件を生かし、稲作中心の複合型経営を中心に、農業所得の安定と農業者の地位向上に努めなければならないと痛感しました。

農林水産省は、来年から農業委員会に対し「優良農地の有効利用」「担い手の育成と確保・経営の確立」のほか、農地の利用調整機能を十分に果たすよう取り組みを求めています。



<調査地一覧>

水沢区佐倉河字今泉地内	胆沢区南都田字京徳地内
水沢区真城字川尻地内	胆沢区小山字小田切地内
江刺区米里字中郡郡地内	衣川区中河内地内
江刺区稲瀬字正源寺台地内	衣川区東裏地内
前沢区向谷起地内	
前沢区裏新田地内	

岩手県農業委員大会

盛岡市のマリオスで11月16日第51回岩手県農業委員大会が開催され奥州市から、旧江刺市の農業委員会会長をつとめられた高橋肇氏とJ A江刺市組合長今野清一氏が、農政・農事功労賞で表彰されたほか、農業委員実践活動事例として農地利用集積活動等の取組を胆沢区の村上多悦委員が事例発表しました。また、大会提出議案として国や県の施策の充実に関する要請決議が行われました。

全国農業新聞

を購読しませんか!?

この新聞は、農業委員会系統組織が農業者の立場に立って編集・発行している農家のための情報紙です。(毎週金曜日発行・定価 月6000円) 制度の改正の仕組みから地域の活動まで幅広い情報を扱っています。

購読の申し込みは農業委員または農業委員会事務局まで。

9月8日版 東北のページに

「ぎげなで荒廃防止 奥州市農業委員会」として

8月31日の東北・北海道農業活性化フォーラム(花巻市で開催)での菊池喜登農業委員(江刺区藤里)の事例発表の様子が掲載されました。「集まって楽しむ」集楽営農のため特定農業団体を設立した。委員活動は「翻訳」することが大事」と分かりやすい発表に、その後東北各地からの視察があいついでいます。

「家族経営協定」を知っていますか?

この協定は、意欲とやりがいがある農業経営を目指し、経営方針や役割について個々の家庭にあった内容で文書化して働きやすい環境づくりを整備するものです。協定を結ぶと認定農業者制度や農業者年金制度、農業改良資金制度などにメリットもあります。まずは仕事の分担と休日について文書にしてみませんか?

11月27日に盛岡市のアイーナで県のセミナーが開催され、胆沢区に加藤清さん、伊百子さんご夫妻(平成12年締結)が「夢の持てる専業農家であり続けるために」と題し発表しましたので紹介します。

加藤さんは息子さん夫婦とパート雇用により野菜や花壇用花苗(35〜50万苗)やシクラメン(1万6千鉢)を生産する園芸農家です。

清さん「妻の要請に根負けし息子夫婦と4人で締結した。その際『何ごとも要求するからには責任がある。『経営』の字があるからには遊びではなく戦力に』と念押しした。孫が来春小学校に入るのを契機に息子夫婦を主力に協定内容を見直す予定。この場を借りて非農家から嫁いであんばっている嫁に感謝したい。」

伊百子さん「自分の母親がしていたように『農家の嫁』をしつともモヤモヤしていた時この制度を知り、自分でも驚くような熱意で締結をお願いした。主張が認められて初めて自分が一番『嫁』の立場にとらわれていたと気づき、その思い込みから自由になった。また、後継者が育つきっかけにもなった。」

なかなかすぐに締結効果は出ないそうですが、締結によって強くなった「農業をしながら明るく暮らしていくには家族の輪がやはり大事、円満でいたい」

ね」というその気持ちは、きっと次の世代へと引き継がれ、奥州市農業をささえていくものになるのではないかと思います。

建議要望書を提出

12月4日千田農業委員会会長は相原市長に対し、奥州市農業委員会の建議要望書を提出しました。内容は、農業振興計画や農地・水・環境保全向上対策を中心に8項目となっております。

提出後の懇談では、品目横断的経営安定対策へのためには、中山間地域における小規模なほ場整備を促進することが重要だとの話題がだされました。

また、首都圏、とりわけ大阪における農産物の宣伝、販売活動の話題も出されました。



市長に対する建議要望の提出を行ないました

◆◆◆ 農業委員会事務局からのお知らせ ◆◆◆

農地流動化情報 農地の貸し借り、売買情報です。詳細については、各区の農業委員会分室までお願いします。

貸したい農地の情報				売りたい農地の情報			
農地の所在	地目	面積 (㎡)	備 考	農地の所在	地目	面積 (㎡)	備 考
江刺区岩谷堂字川原崎地内	田	376	休耕中	江刺区稲瀬字正源寺台地内	田	3,283	農業公社を通して契約
江刺区岩谷堂字川原崎地内	田	833	休耕中	江刺区稲瀬字正源寺台地内	田	3,220	農業公社を通して契約
江刺区岩谷堂字川原崎地内	田	833	休耕中	江刺区稲瀬字正源寺台地内	田	1,399	農業公社を通して契約
江刺区岩谷堂字川原崎地内	田	423	休耕中	衣川区中島地内	田	1,140	
江刺区岩谷堂字川原崎地内	田	376	休耕中				

〈農業経営基盤強化促進法による 権利の設定申請の添付書類の簡略〉

奥州市農業委員会では、農業経営基盤強化促進法による権利の設定手続きについて、申請の際に登記簿謄本を添付することとしておりましたが、品目横断的経営安定対策の実施にともない、認定農業者や農業法人に対して農地の利用集積を図るため、利用権の設定（借りる・貸す）申請に限り、12月1日から登記簿謄本のかわりに市で発行する固定資産証明書（添付でも手続きを行なえることに変更しました）。

なお、同法における所有権の移転（売る・買う）に係る手続きについては、今までどおり登記簿謄本の添付をお願いします。

〈農業委員会委員選挙人名簿 登録申請書の提出について〉

平成19年1月1日現在の状況を記入してください。

12月28日の行政区長配布により、農業委員会から標記について申請書が配布されますが、これは農業委員の選挙の際に必要な選挙資格に関わる大切なものです。

この申請書に基づいて、農業委員選挙人名簿が作られます。この名簿に登録されていないと投票もリコールの請求もできなくなります。期日までに、行政区長または各総合支所の農業委員会分室へご提出ください。

〈農地の「権利移動・転用」 する場合は農業委員会 の許可が必要〉

農地の貸借や売買をしたり、転用するときは、許可を受けなければなりません。また、許可後に目的を変更する場合も変更手続きが必要となります。農業委員会で手続きをしてください。

申請から許可までの手順

- 標準的な事務処理は次のとおりです。
- ・申請書の受付期限
毎月月末（休日の場合は、次の業務日）
- ・総会または農地部会による決定
翌月20日（休日の場合は、前後の業務日）
- ・許可書の交付
貸借・売買の場合は農地部会月の月末
- ・転用の場合は農地部会月の翌月10日頃

詳細については、農業委員会事務局の各分室へお問い合わせください。

奥州市農業委員会事務局

水沢	24	2111	(内線295)
江刺	35	2111	(内線251)
前沢	56	2111	(内線242)
胆沢	46	2111	(内線313)
衣川	52	3111	(内線213)

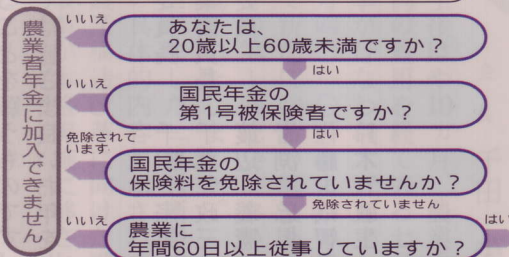
農業者年金に加入しましょう

幸せな老後には「健康」「友達」「自由に使えるお金」が必要です！

国民年金受給だけでは1人あたり1ヶ月に6万6千円にしかありません。

(注) 40年間保険料を支払った場合。(社会保険庁HPより)
農業者年金に加入し少しでも多く年金をもらいましょう。

●あなたは農業者年金に加入できますか？



加入のご検討を

農業者年金に加入できます

●農地の移動状況

4月から11月までの農業委員会取り扱い結果。

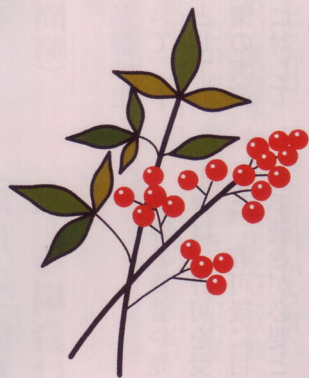
単位 (㎡)

	農地法3条 (耕作目的の権利移動)						農地法4条 (自己転用によるもの)						農地法5条 (権利の移転・設定が伴うもの)					
	件数			面積			件数			面積			件数			面積		
	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計
水沢区	29	6	35	170,448	37,027	207,475	11	6	17	7,315	3,689	11,004	34	14	48	43,797	8,392	52,189
江刺区	74	10	84	472,779	1,947,837	2,420,616	2	5	7	1,476	4,171	5,647	14	15	29	13,782	24,415	38,197
前沢区	25	10	35	190,305	154,958	345,263	3	0	3	1,633	0	1,633	10	7	17	15,127	4,892	20,019
胆沢区	28	15	43	239,643	38,478	278,121	4	6	10	5,462	1,719	7,181	4	10	14	2,815	31,332	34,147
衣川区	10	2	12	56,604	14,734	71,338	0	0	0	0	0	0	1	3	4	331	3,499	3,830
合計	166	43	209	1,129,779	2,193,034	3,322,813	20	17	37	15,886	9,579	25,465	63	49	112	75,852	72,530	148,382

●農地パトロール結果

(転用事業の事後確認)

「農地パトロール強化月間」の期間中に、転用事業の事後確認に重点をおいて各区ごとに農業委員全員で実施しました。(調査期間 11月6～10日)



	調査件数	報告書の提出を求めたもの	未着工のもの	計画と異なっていたもの	事業完了	施工中
水沢区	39	24	2	5	4	4
江刺区	18	7	3	1	3	4
前沢区	52	48	2	1	0	1
胆沢区	9	7	1	0	1	0
衣川区	24	20	2	1	0	1
合計	142	106	10	8	8	10

【結果】 完了済のものがほとんどでしたが、完了報告書未提出が多くみられました。今後は転用許可後、すみやかに着工し農業委員会に完了報告書を提出するよう注意を喚起してまいります。

編集委員長
副編集委員長
編集委員

千田 宗男
千葉 政三
渡辺 義憲
岩渕 忠男
佐藤 哉智
鈴木 敏生

今年も残すところ一ヶ月をきりました。胆江地方の作況指数は、6月から7月にかけての低温、日照不足などでやや不良の九七になりました。また、米取引指数となるコメ価格センターでの取引は、数量価格とも低調で「応札があっても落札なし」があるそうです。不作なのに需給均衡するとも言われており、米をめぐる情勢の複雑さに矛盾を感じますし、出来秋を迎えても農家の笑顔が見られないのが残念です。

しかし、我々農業者は「安全で安心な食料供給」が大切な仕事です。誇りと希望の持てる職業であり続けることを願うものです。それでは皆さま良いお年をお迎え下さい。

編集後記